



傳書鳩

(ハ調四拍子) 小松耕輔作曲

Musical score for '傳書鳩' (Hwa-shu Kuma), composed by Kōji Komatsu. It consists of seven staves of music with three vocal parts (1, 2, 3) and guitar accompaniment. The lyrics are written in Japanese characters below the notes.

1. マ ベ ム
 2. — に ネ
 3. — に ネ

5. 3 6 6 | i- 6 5 | 3. 3 5 3 | 2- . 0 |

メ ソ ハ
 ノ の ゲ
 ヤ く ヤ
 サ チ ハ
 シ バ ラ
 サ シ カ
 ヨ の ク
 カ ラ マ
 ハ ツ ロ
 サ シ タ
 ヨ サ リ

1. ヒ ヒ ヒ
 2. ト ト ト
 3. タ タ タ

3. 3 3 2 | i- 7 6 5 | 4 3 4 6 | 5- . 0 |

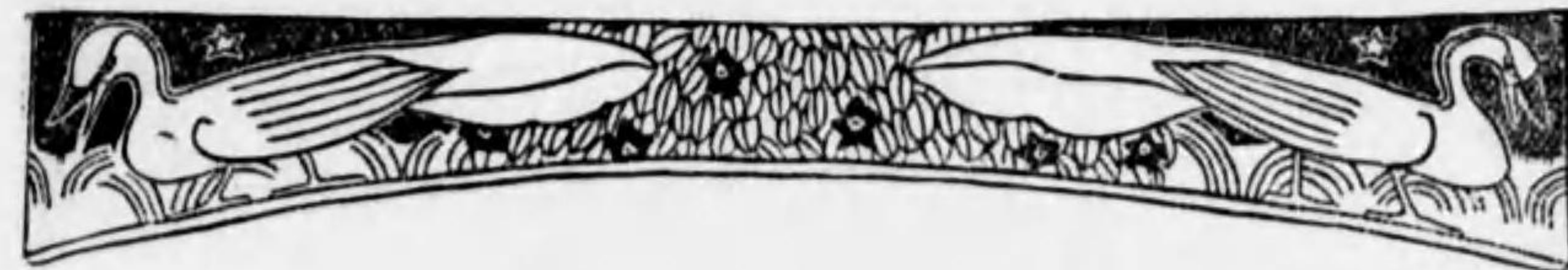
ワ ラ ヤ
 ヲ ミ ヲ
 エ ヤ イ
 ガ ヲ ル
 キ イ ゴ

i- 2 i | 7 6 5 3 | 5. 5 6 7 | 5- . 0 |

ム キ オ
 キ モ
 ヲ キ
 タ シ ツ
 ガ ラ ト
 ヘ ス メ
 ズ ト ラ
 マ マ ハ
 シ シ タ
 グ グ ス
 ラ ラ ナ
 ニ ル

6. 6 6 5 | i. i 6 5 | i. i 2 3 | i- . 0 ||

ト ト ツ
 ビ ヲ ガ
 ヲ ヲ イ
 ク サ
 カ マ
 シ シ
 コ シ
 サ ノ
 イ デ
 サ シ
 マ シ
 シ バ
 サ ト



鳩書傳

一、圓く小さき珠に似て、日のやさしさよ、可愛さよ。
 一たびたつや、高空に、輪を、えがきつゝ、見定めし、方向を、たがへず、ましぐらに、とびゆく賢さ、勇ましさ。

二、紅をさしたるばかりにて、その嘴の美しさ。
 一たび、たつや、大空を、海、山、戦争、様々の、急を、知らすと、ましぐらに、とびゆく賢さ、勇ましさ。

三、胸をつゝみて、ふくよかに、羽毛、やはらかく、圓みたり。
 一たびたつや、青空を、矢を射るとき速さをもて、重きつとめを果すなる、わが勇ましの傳書鳩。



温室

(ハ調四拍子)

梁田 貞作曲

5 3 2 1 | 1̇ 6 5 0 | 5 3 2 1 | 2 3 5 0 |
 1. ガラスノ ヤネニ ガラスノ カベニ
 2. はるけき うみの とこなつ じまの

6 6 2̇ 6 | 1̇ 1̇ 3 0 | 2̇ 5 6 7 6 5 | 2̇ - 1̇ 0 |
 アカルキ イヘノ アタータカキ カテ
 みしらぬ きぎも おも-しろき かな

1̇ 1̇ 1̇ 1̇ | 1̇ 7 1̇ 6 5 3 1 | 2̇ 5 6 7 2̇ 1̇ |
 ソトニハ ア-ラ-シ-ノ アレ-テア-
 かはれる は-な-を-ば ここ-にさ-

7 6 5 0 | 1̇ 1̇ 1̇ 1̇ | 1̇ 7 1̇ 6 5 3 1 |
 リトモ アフルル エ-マ-ヒ-ニ
 かせて ふゆをも よ-そ-な-る

2̇ 5 6 7 6 5 | 2̇ 2̇ 1̇ 0 | 1̇. 1̇ 3 0 | 5. 5 1̇ 0 ||
 トコーハルノ ミツル オンシツ オンシツ
 あた-たかき いへよ おんしつ おんしつ



室 温

ガラスの屋根に
 ガラスの壁に
 明るき家の温かきかな
 外には嵐の荒れてありとも
 溢るゝ笑に常春の満つる、
 温室、温室。

遙けき海の常夏島の
 見知らぬ木々も面白きかな
 かはれる花をばここに咲かせて
 冬をもよそなる温かき家よ
 温室、温室。



平和なる村

(短ニ調四拍子) 梁田真作曲

0 2 2 1 | 2 2 6 1 | 2 2 4 | 5 6 | 6 - | 6 - |

1. ハ ル ハ ハ ナ サ ク ヲ カ ノ ミ チ
2. な つ は か ぜ ふ く も り の な か
3. シ ジ ノ イ ソ シ ミ タ ノ シ ミ ニ

0 6 6 5 | 6 6 5 4 | 5 5 6 | 4 1 | 2 - | 2 - |

ア キ ハ ミ ノ リ ノ ア ゼ ノ ミ チ
ふ ゆ は ひ の さ す の き の し た
ム ラ ニ ヘ イ ツ ノ コ エ ミ チ テ

0 2 2 4 | 5 5 4 5 | 6 6 i | 6 5 4 | 6 - | 6 - |

オ ノ ガ ツ ト メ ニ イ ソ シ ミ テ
ホ い も わ か き も イ ソ シ ナ ミ
サ カ エ ユ タ ナ リ ト シ ゴ ト ニ

0 6 i | 2 - | i 6 5 5 | 6 - | 6 0 i i |

ユ フ ベ ノ カ ネ ニ カ ヘ
た の し く わ ざ に は
ユ タ ケ キ ウ タ ノ し ヒ

6 - | 6 5 ナ リ 2 - | 2 - | 2 - ||

ル 6 ナ リ 2 - | 2 - | 2 - ||
む 5 ナ リ 2 - | 2 - | 2 - ||
ク 2 ナ リ 2 - | 2 - | 2 - ||



村るな和平

一、春は花咲く丘のみち
秋はみのりのあぜのみち
おのがつとめに いそしみて
夕のかねにかへるなり

二、夏は風吹く森のかげ
冬は日のさす軒の下
老も若きもをさなきも
若きもをさなきも

三、四時のいそしみ樂しみに
村に平和の聲みちて
榮え行くなり 年ごとに
豊けき歌のひびくなり

樂しく 業に はげむなり



二 歳 駒

(變ロ調六拍子) 小松耕輔作曲

mf

1. ヲ ト ト ノ ゴ ト ク イ ツ ー ク シ ミ ー
 2. け ふ こ そ は れ の う せ せ ー の い ち ー
 3. ソ ガ ヤ ノ マ ヘ ノ セ セ ー ラ ギ ノ ー

コ コ ロ ヲ コ メ ー テ ソ ダ ー テ タ ル ー
 ひ と め に た フ ー パ ノ ミ ー テ ヌ ケ ー
 ナ ガ レ ヲ ケ フ ー ー

コ レ ナ ル ワ カ ゴ マ ニ サ ー イ ゴ マ ー
 こ れ な ル ワ カ ゴ マ ニ サ ー イ ゴ マ ー

ア シ モ セ ノ ビ タ ク マ シ ク ー
 オ の が か く の ひ と マ り ゴ と ー
 ワ レ ト ハ シ ル ヲ コ ノ ミ タ ル ー

ケ ダ カ キ コ マ ハ ナ リ ニ ケ リ ー
 ツ イ ス モ ケ カ ヒ ト コ ソ ナ れ ゴ リ ケ ナ レ ー

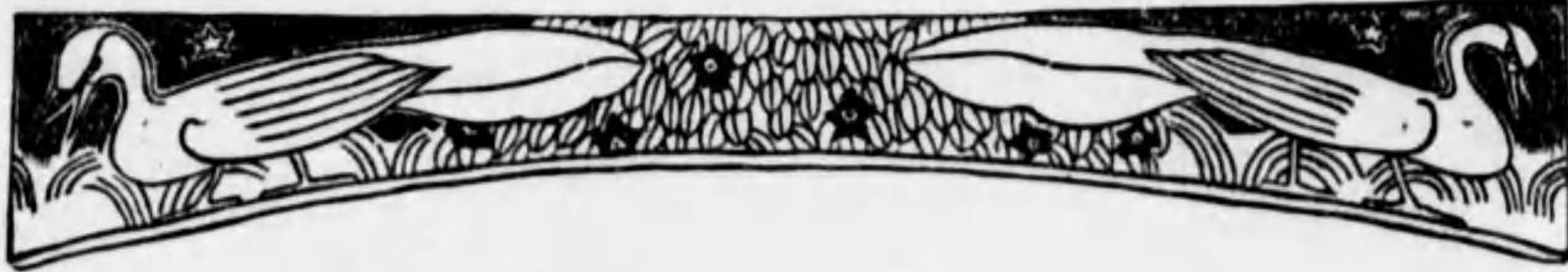


駒 二 歳

一、弟の如く慈しむ心をこめて育てたる
 これなる若駒、二歳駒、
 脚も脊も伸び、逞しく
 氣高き駒とは、なりにけり。

二、今日こそ晴れの馬の市
 人目に立てよ、ほめられよ
 これなる若駒、二歳駒、
 おのが家族のひとりぞと
 愛する買手のあれよかし。

三、我が家の前のせせらぎの
 流れを今日は飲みて行け
 これなる若駒、二歳駒、
 我と走るを好みたる
 堤も今日こそ名残なれ。



秋 晴

(ハ調三拍子)

梁田 貞 作曲

1. 2. 3. 0 5 ウナヤ 1 カがマ 1 ビれニ 1 テクノ 1 シるニ | 1 シかユ 2 ラゼタ 2 クヤケ 2 モヤキ 2 ヒヒミ 5 トえノ

5 ツてリ 6 イこア 4 ツこキ 6 シろコ 6 カもソ 6 キすモ 1 エみナ | 1 テぬカ 1 - 0

2 オいイ 1 ホたヅ 1 ゾベカ 6 ラいたニ 4 ハのニ | 6 スやワ 5 ミねヲ 5 テにヤ 3 ホとエ 2 ガまガ 1 ラりケ

3 ニてル 3 - 0 6 ハうト 5 レごピ 5 ワかノ 3 タぬコ 1 リこエ 2 タばス | 1 リちル 1 - 0



晴 秋

浮びてし白雲、ひとつ
いつしか、消えて
大空は、すみで、ほがらに
晴れわたりたり。
流れ来る風、やゝ冷えて
心もすみぬ
板塀の屋根に止りて
動かぬ小蜂。
山に野に、ゆたけきみのり
秋こそ最中
何方に輪をやえがける
鳶の聲する。



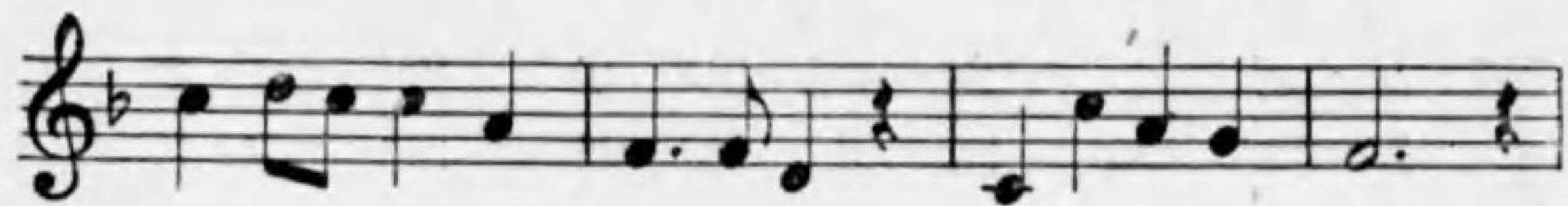
霜

(ハ調四拍子)

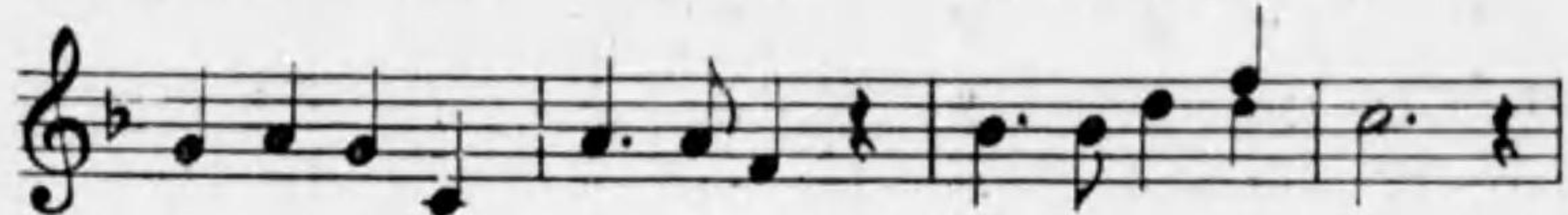
梁田 貞 作曲



5 6 5 5 3 | 1. 1 6 0 | 5 1 5 3 | 2-0 |
 1 ヒゴートニ フユノ チカヅキテ
 2. ひご-とに ふゆの ちかづきて



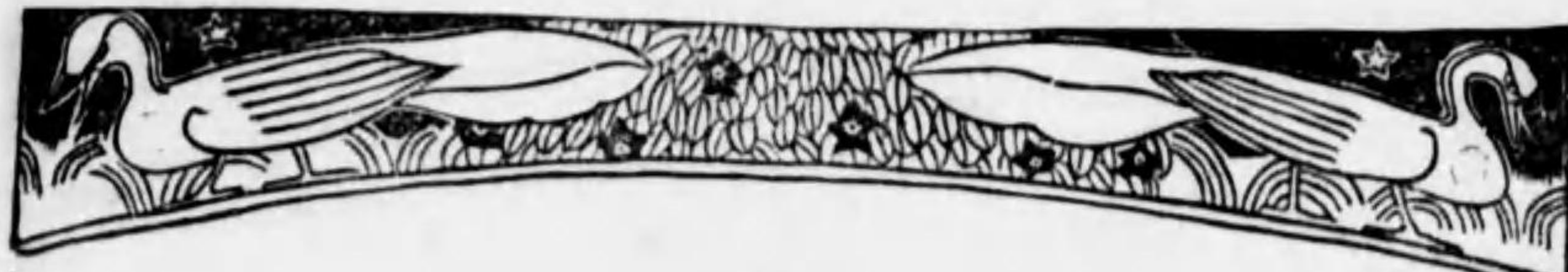
5 6 5 5 3 | 1. 1 6 0 | 5 5 3 2 | 1-0 |
 ミモ-ヒキ シマル ココチスル
 みも-ひき しまる こちする



2 3 2 5 | 3. 3 1 0 | 4. 4 6 i | 5-0 |
 カドタノ ミヅモ カレハテテ
 かきねの きくも かれはてて



5 6 5 5 3 | 1. 1 6 0 | 5 5 3 1 | 2 5 1 0 ||
 イナーガラシロキ シモヲシ ミレバ
 いら-かに しろき しもをし みれば



霜

薨 <small>なげ</small> に 白 <small>しろ</small> き 霜 <small>しも</small> を し 見 <small>み</small> れば。	枯 <small>か</small> れ は て て	垣 <small>かき</small> 根 <small>ね</small> の 菊 <small>きく</small> も	身 <small>み</small> も ひ き し ま る 心 <small>こゝろ</small> 地 <small>ぢ</small> する	日 <small>ひ</small> 毎 <small>まい</small> に 冬 <small>ふゆ</small> の 近 <small>ちか</small> づ き て	稻 <small>いね</small> が ら 白 <small>しろ</small> き 霜 <small>しも</small> を し 見 <small>み</small> れば。	酒 <small>さけ</small> れ は て て	門 <small>かど</small> 田 <small>の</small> 水 <small>みづ</small> も	身 <small>み</small> も ひ き し ま る 心 <small>こゝろ</small> 地 <small>ぢ</small> する、	日 <small>ひ</small> 毎 <small>まい</small> に 冬 <small>ふゆ</small> の 近 <small>ちか</small> づ き て
--	-------------------------------------	---	---	--	---	--------------------------------------	--	--	--



グレース ダーリング

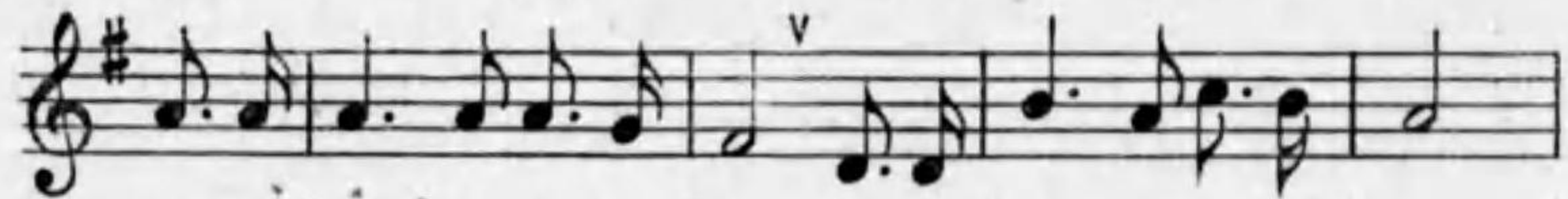
(ト調三拍子)

小松耕輔作曲



5. 5 | 1. 2 3. 4 | 3- 5. 5 | 2. 1 7. 1 | 2 - |

1. ナ ミ ゾ ウ ナー ル カゼ ゾ アル ル
2. ち ち に ー す す め オー ル と り ー て
3. カ ヒ ナ ツ カー レ イ キ ハ タ ユー ル



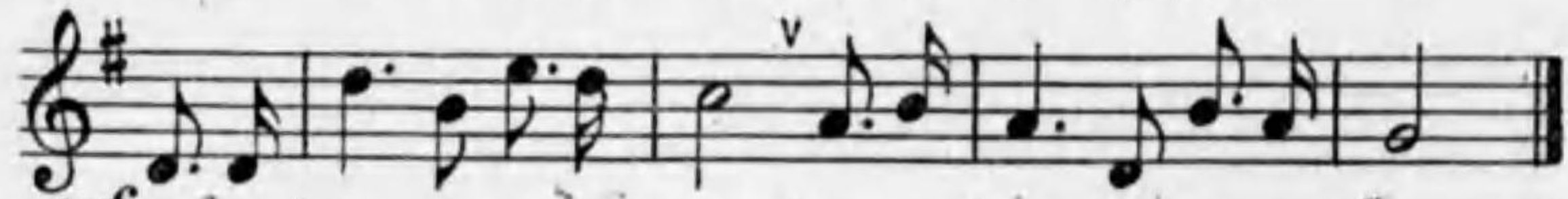
2. 2 | 2. 2 2. 1 | 7- 5. 5 | 3. 2 4. 3 | 2 - |

ア ラ シ ニ マ ジ ル ヨ フ ケ ノ コ エ ハ ツ
こ の は の ご と く し づ み つ ら き つ
ケ レ ド モ チ カ ラ ツ ズ カ ン カ キ リ



5. 5 | 6. 5 5. 4 | 3- 2. 3 | 2. 1 3. 2 | 2 - |

チ カ ラ ノ カ ギ リ サ ケ ベ ル コ エ ハ
あ ら な み こ え て こ ぎ ゆ く を と め
タ フ ト キ ヒ ト ノ イ ノ チ ヲ ス ク フ



mf 5. 5 | 5. 3 6. 5 | 4- 2. 3 | 2. 5 3. 2 | 1 - ||

ス ク ヒ モ ト ム ル ア ハ レ ナ ン バ セ ン
あ は れ イ ギ リ ス こ と う の せ う じ ょ
ツ ヨ キ ネ ガ ヒ ニ コ コ ロ ハ イ サ ム



グンリーダ スーレグ

三、腕疲れ、息はたゆる

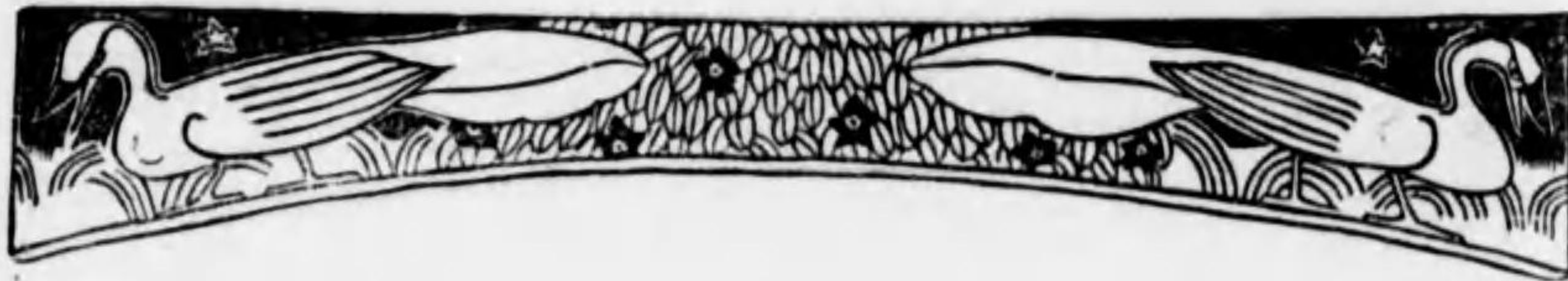
されども、力つゝかむ限り
尊とき人の生命をすくふ
強き願ひに心を勇む。

二、父にすすめ、オールとりて

木の葉の如く、沈みつ、浮きつ
荒波こえて、漕ぎゆく少女
あはれ、イギリス、孤島の少女。

一、波ぞ唸る、風ぞ荒る、

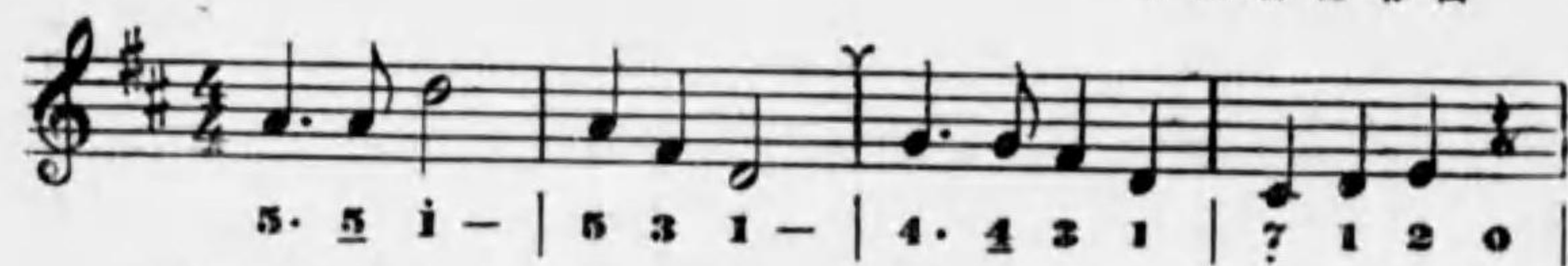
嵐にまじる夜深の聲は
力の限り叫べる聲は
救求むる、あはれ、難破船。



太陽

(=調四拍子)

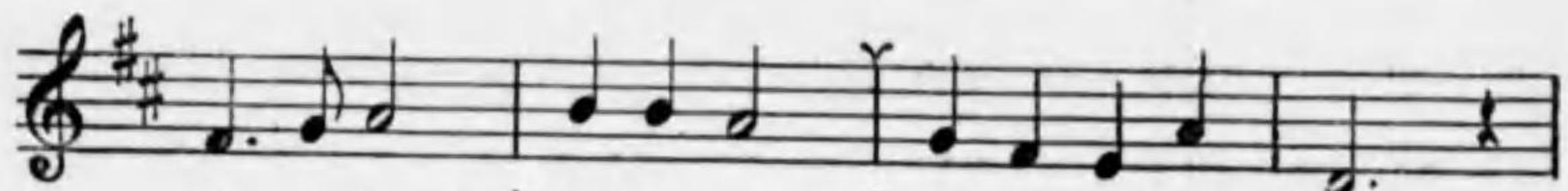
小松新輔作曲



5. 5 i - | 5 3 1 - | 4. 4 3 1 | 7 1 2 0 |

1. サンラン トシテ カガヤキ テアヲ

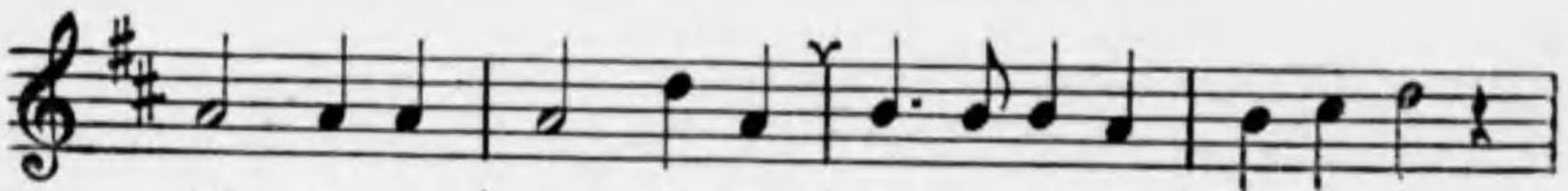
2. ねつと ひかり ちからの もとむ



3. 4 5 - | 6 6 5 - | 4 3 2 5 | 1 - 0 |

エンエン トシテ モエテアヲ

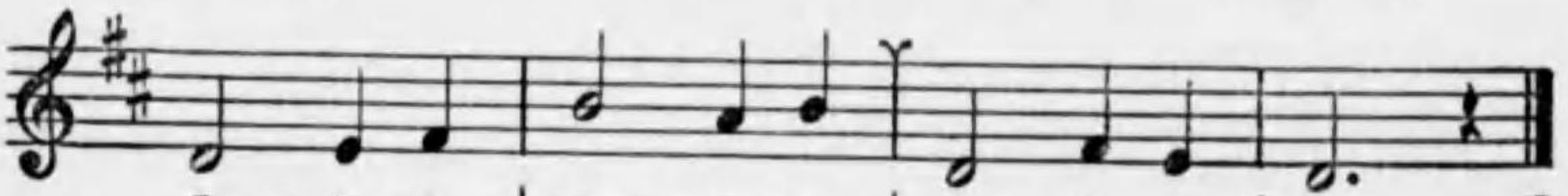
たいやうこそはよのかざり



5 - 5 5 | 5 - i 5 | 6. 6 6 5 | 6 7 i 0 |

センネンマンネンセンマンネンヲ

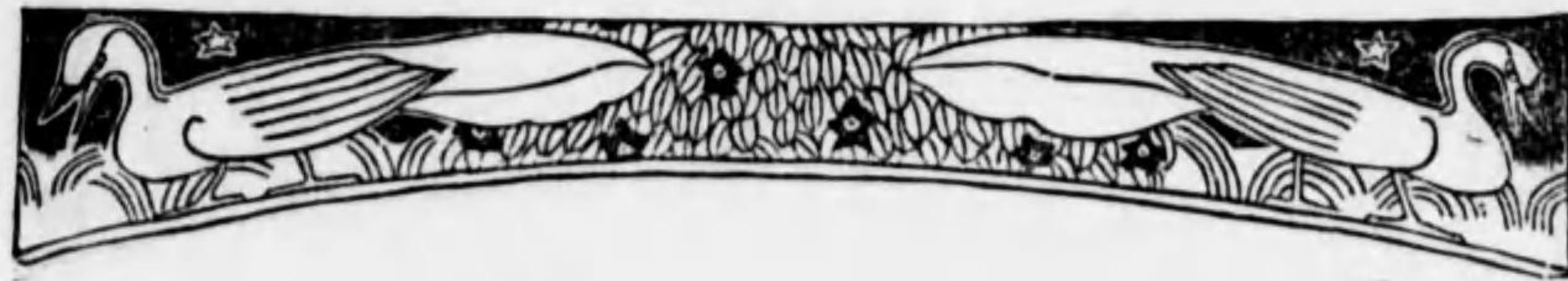
せんねんまんねんせんまんねんま



1 - 2 3 | 6 - 5 6 | 1 - 3 2 | 1 - 0 ||

タカキタカキアアタイヤウ

たかきたかきあたいやう



陽

太

あゝ太陽	高き	千年	太陽	二、熱と光	あゝ太陽	高き	千年	一、燦爛として
高き	万年	こそは	こそは	力の基	高き	万年	炎々として	燃えてあり
高き	千年	世の限り	世の限り		高き	千年	燃えてあり	輝きてあり
	万年					万年		



ピクニック

(ハ調四拍子)

小松 耕 補 作曲

Musical score for 'ピクニック' in G major, 4/4 time. The score consists of four staves of music with lyrics in three parts (1, 2, 3) written below the notes.

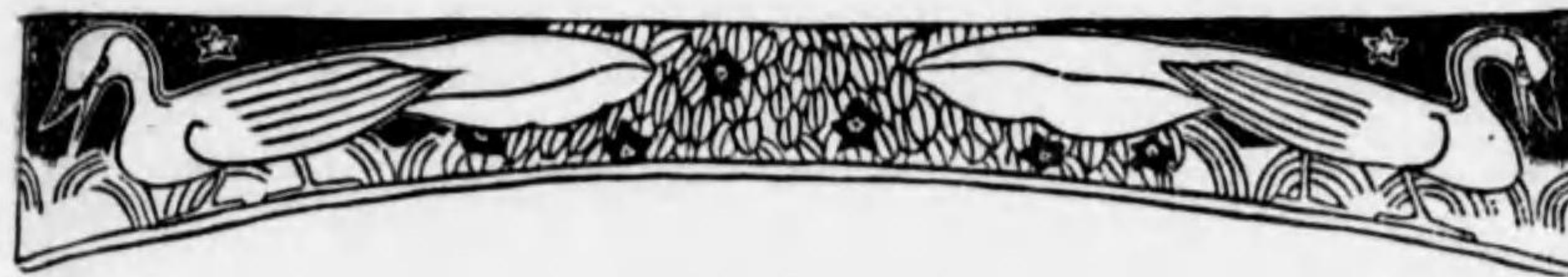
1. ハ ハ ウ ヘ サ ヘ ウ レ シ ゲ ニ
 2. は は う へ さ へ く さ つ み て
 3. ノ ナ カ ニ エ ム モ リ カ ゲ ニ

チ チ ウ ヘ サ ヘ タ ノ シ ゲ ニ
 ち ち う へ さ へ は な つ み て
 ソ ク シ ミ ツ ノ ツ レ マ テ リ

ユ ビ フ リ テ ハ マ チ カ ネ シ
 さ き だ ち て は お く れ て は
 タ ツ サ ヘ タ ル ヒ ル ゲ フ

5 | i - 2 3 | i - 5 5 | i - 2 3 | i - 0 |
 5 | i - 2 3 | i - 6 6 | 5 - 7 2 | i - 0 |
 2 | 2 - 3 i | 6 - 5 2 | 2 - 3 i | 2 - 0 |
 5 | i - 2 3 | i - 5 5 | i - 2 3 | i - 0 ||

タ ノ シ キ ケ フ ノ ノ ア ソ ビ ヨ
 た の し き け ふ の の あ そ び よ
 ヤ ガ テ ヒ ラ ク タ ノ シ サ ヨ



クツニクピ

Lyrics for 'クツニクピ' in three parts (一, 二, 三).

一、母上さへ嬉しげに
 父上さへ楽しげに
 指折りては待ちかねし
 樂しき今日の野遊よ

二、母上さへ草つみて
 父上さへ花つみて
 先だちてはおくれては
 樂しき今日の野遊よ

三、野中に笑む森かげに
 沸く清水のわれ待てり
 携へたる晝餐をば
 やがて開く樂しさよ



賤が獄

(ト調四拍子)

小松耕輔作曲

Musical notation (treble clef, 4/4 time, key of D major) with lyrics and numbered notation below:

1 2 3 2 | 1. 1 6 5 | 1. 1 2 3 | 2 - . 0 |

ヤーマノ ガケミチ セマケレド
しーばし ふせぎし まさくには

Musical notation with lyrics and numbered notation below:

3. 4 5 3 | 2. 1 6 - | 5. 5 3. 1 | 2 - . 0 |

カタカマ ヤリヲ ウチシゴキ
にはかに やりをば なけすて

Musical notation with lyrics and numbered notation below:

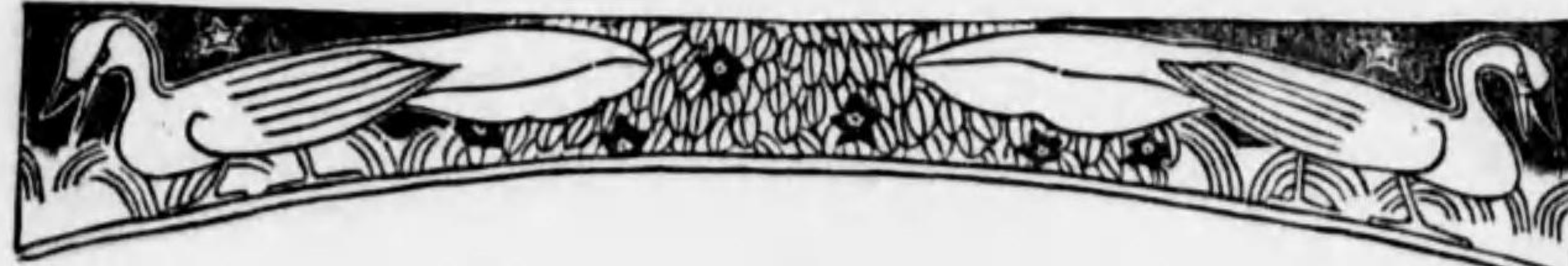
5. 6 5 4 | 3. 4 3 2 | 5. 5 1 2 | 3 - . 0 |

ツーイテ カカリシ キヨマサニ
もーろて ひろけて くみつけば

Musical notation with lyrics and numbered notation below:

3. 4 3 2 | 1. 1 6 5 | 1. 2 3 2 | 1 - . 0 ||

マサクニ ヤリヲバ アハセタリ
きよまさ えたりと いだきつく



獄ゲ賤

首をば	落つる	崖三	組み	谷へ	正國	足踏	共には	清正	諸手	俄に	暫し	正國	突いて	片鎌	山の
を	る	十	しま	と	清正	んげ	は	得ひ	ろ	槍を	防ぎ	槍を	か	を	崖路
清正	早く	を	なる	轉び	諸共	りく	く	たり	て	ば	正國	ば	合	打	狭
正あ	く	ど	兩	びて	共	踏	押	抱	抱	組	は	合	せ	し	け
げに	正國	つ	雄	ちて	に	み	し	き	き	み	す	せ	たり	し	れ
けり	の	と	は	行	落	外	合	つ	つ	つ	て	に	正	ご	ど
		つ		く	ち	号	へ	く	く	ば			に	き	



瀬戸内海

(ト調六拍子)

小松新輔作曲

Musical score for '瀬戸内海' (Setouchi Bay) in 6/8 time, G major. The score consists of four staves of music with corresponding Japanese lyrics below each staff.

Staff 1:
 5 5 5 1 | 3 2 1 2 | 3 4 2 3 | 5 4 3 2 |
 ハルハシ マジマカ スミニネ ムーリ
 しははみ さきにみ さきはし まーに
 スナノシ ロキニミ ドリモフ カーキ

Staff 2:
 5 5 5 1 | 3 2 1 | 5 1 3 2 3 | 1 1 0 |
 ナツハウ ミヤマ ミーナミ ドリ
 よくもに たりや にーたらす やー
 マツヲヤ ドシテ ナーミシヅ カー

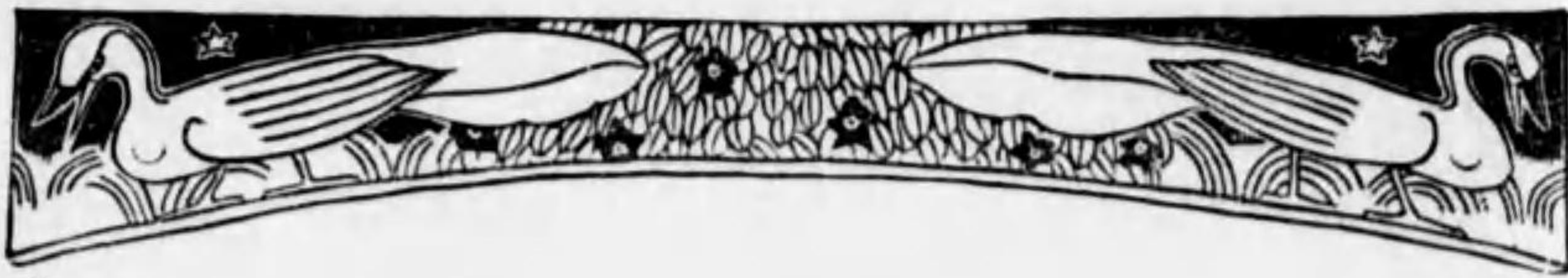
Staff 3:
 5 5 5 3 | 4 4 4 4 | 3 2 1 2 | 3 2 5 0 |
 サザナミ ツキノカ ゲヲバク ダーキ
 なぎさに ならぶみ んかの かべーの
 アサヒユ フヒヲ シラホニウ ケーテ

Staff 4:
 5 5 5 3 | 4 4 4 4 | 5 3 2 3 | 1 1 0 ||
 エキモ マレナルー フユノウウ ミー
 しろきは 点ににて ひとたて りー
 シマガク レユクー フネノド カー



海内戸瀬

島がく れゆ く 舟のどか
 朝日夕日を白帆に受けて
 松を宿して波しづか
 砂の白きに 緑も深き
 白きは繪に似て 人立てり
 渚にならぶ民家の壁の
 よくも似たりや 似たらずや
 島は岬に 岬は島に
 雪も まれなる 冬の海
 さぐなみ 月の影をば碎き
 夏は 海山みな緑
 春は 島々霞にねむり



リンカーン

(ト調四拍子)

小松 耕輔 作曲

1-3 2 | 1 2 1 6 5 | 1-1 2 | 3 2 1 2 0 |
 チ ナ タ ター タル ホ ッ タ テ ゴ ヤー ハ
 な ま の じ が い も あ さ ゆ ふ か ち り

3-2 1 | 2 3 2 1 5 | 1. 1 3 2 | 1-0 |
 ト ナ シ マ ドー ナ シ ユ カ モ ナ シ
 ふ み よ む こ と さ へ な か り け り

5-6 1 | 5 6 5 1 2 | 3. 3 5 4 | 3 1 2 0 |
 サ レ ド タ ノー シ ク チ チ ヲ バ タ ス ケ
 た び の ひ と よ り は な し を き き て

5-6 5 | 3 4 3 2 1 | 2-5 5 | 5-0 |
 ト チ ヲ ヒ ラー キ シ セウ オ ン ヲ
 や や な く さー み し せう ね ん を

5-6 5 | 1 2 3 2 1 | 2 2 5 5 | 3. 2 1 2 0 |
 ノ チ ノ ア メー リ カ ダ イ ト ウ リ ヲ ウー ト
 の ち の ア メー リ カ だ い と う の よ う と

5. 5 6 5 | 1. 2 3 - | 5. 5 3 2 | 1-0 ||
 タ レ カ ハ シ ラ ン シ ル ベ シ ヤ
 た れ か は し ら ん し る べ し や



ン ー カ ン リ

あ 後 學 強 々 毎 日 き の び き 讀 々 偉 々 偉 々 ア 續 々 心 々 人 々 な メ け に て の る リ し 體 々 傳 々 か カ 少 々 を 聞 々 記 々 な 大 年 々 暇 々 見 々 統 々 は え た 好 々 此 領 々 の ぞ 少 々 年 々	誰 後 此 拾 ン の か の く ひ の か は ア て 集 々 か は 知 メ 學 々 め は リ ら リ び し リ に む カ し 木 々 の 大 年 々 切 々 炭 々 知 統 年 々 は な ヤ る 領 々 を リ ベ ル べ と 手 々 き ル し や 帖 々 に 寄 々 く は	誰 後 々 旅 々 讀 々 の か の 々 の む 馬 々 は ア 愚 々 人 々 こ 鈴 々 知 メ み よ と 響 々 ら リ し リ さ む カ 少 々 話 々 へ 朝 々 大 年 々 を な 夕 々 知 統 々 を き か る 領 々 々 リ か べ と て け ち し リ や	誰 後 土 々 さ 無 々 の か の 地 々 れ し 建 々 は ア を ど て 知 メ 開 々 窓 々 ら リ き 樂 々 無 々 む カ し し し 場 々 大 年 々 少 々 立 々 知 統 年 々 父 々 床 々 小 々 る 領 々 を も 屋 々 べ と ば 無 々 は し 助 々 や け
--	--	--	--



春の月

(短四拍子)

桑田 貞 作曲

Musical score for 'Spring Moon' (春の月) in 4/4 time, composed by Masamichi Kusano. The score consists of four staves of music with Japanese lyrics underneath.

⑥ ⑥ ⑦ ① | ③ ③ ① ① | ③ ③ ④ ⑥ | ⑦ ⑦ ⑦ ① |
 スミレノハナノハルノノスエニ
 よこぶすをかのさくらのえだに
 サンモンツヅキミドウノウヘニ

 ① ① ⑦ ⑥ | ④ ④ ⑥ ① | ③ ③ ① ⑦ ① | ③ - ① ① |
 ツキハノボリテキタリケ-リ
 つきはのほりてゐたりけ-り
 ツキハノボリテキタリケ-リ

 ⑦ ⑦ ⑦ ⑥ ⑦ | ① ① ① ① | ① ⑦ ⑥ ④ | ③ - ① ① |
 ツミクサーガヘリラヲトリテ
 はなうり-をへてかへりのく
 ワラベノ-フケルハナカゲノ

 ⑥ ⑥ ⑦ ① | ③ ③ ① ① | ③ ④ ⑥ ⑦ | ① ① ① ||
 タノシキコラヲミオクリガホニ
 をとめのうたにさそはれがほに
 トホネノフエヲコロコビガホニ



月の春

遠童月山乙花月横樂摘月董
 音の吹は門女賣は伏草はの
 の吹のののののののののの
 笛けるのぼりき御堂の上
 を喜花蔭のののののののの
 び顔のののののののののの
 にににににににににににに

 乙女歌にさそはれ顔に
 花賣りをへて歸り行くに
 月のはのぼりてゐたりけり
 横伏す丘の櫻の枝に
 樂しき子等を見送り顔に
 摘草歸り手をとりて
 月はのぼりてゐたりけり
 董の花の春野の末に



五月

(へ調二拍子)

梁田 貞 作曲

1. ハナチ ガヒスル ウシノ コノ
 2. つばめ いつしか かへり ー るて

ナニ ー ヨロコビ テハシリ ー キシリ
 るよ ー うれしけ にとびて ー あり

ワカクサ モエテ ノニ ヲカニ
 みせらは はれて うららかに

イマシ ゴグツノ カゼカヲ ル
 いまし ごがわつの ひのひか る

イマシ ゴグツノ カゼカヲ ル
 いまし ごがわつの ひのひか る



月 五

今し 五月の日の光る

今し 五月の日の光る

今し 五月の風薫る

今し 五月の風薫る

御空は はれて うらゝかに

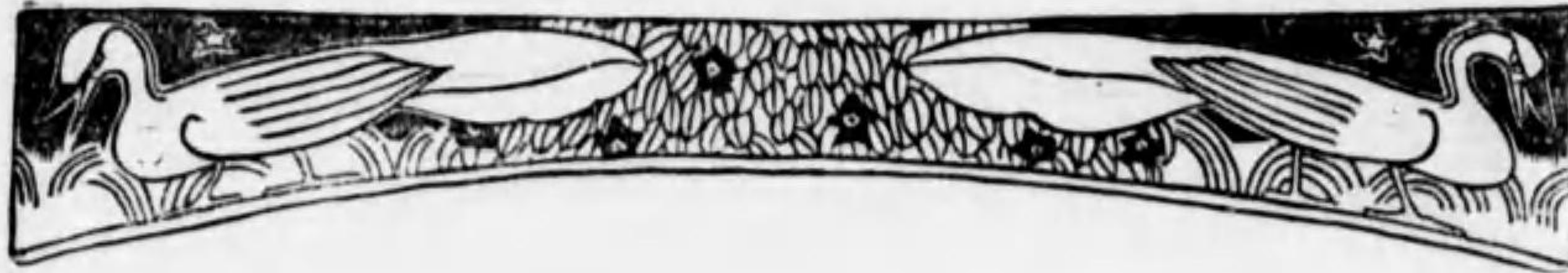
見よ 嬉しげに とびてあり

燕 いつしか 歸り居て

若草もえて 野に丘に

何れ よろこびて 走り來し

放ち飼する牛の子の

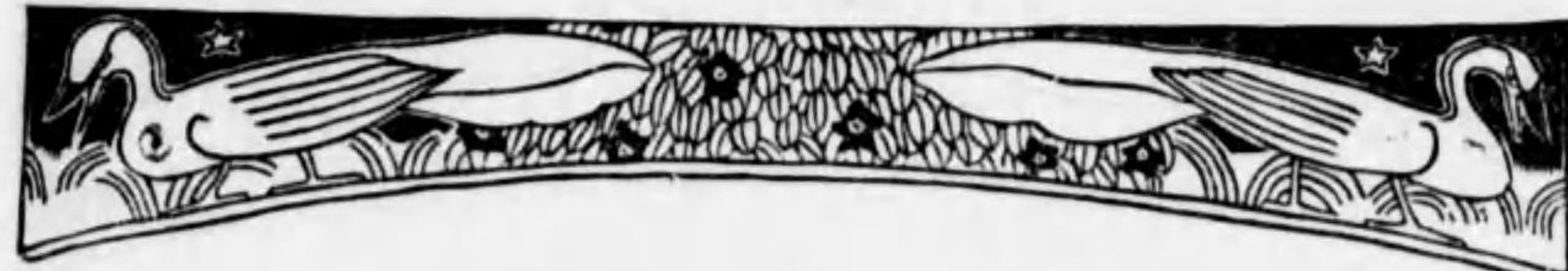


花 園

(ハ調 三拍子)

梁田 貞作曲

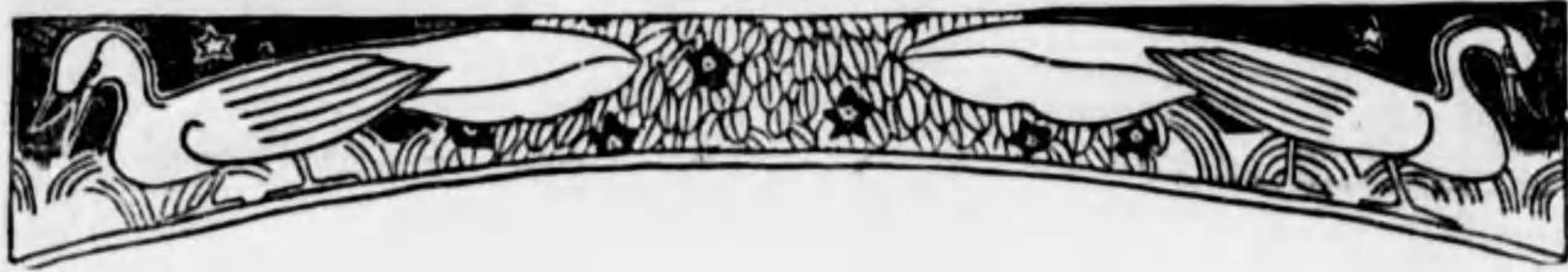
Musical score for 'Garden' (花園) in 3/4 time, G major. The score consists of five staves of music with corresponding lyrics in Japanese. The lyrics are: 我歌あ花い酔高香 / もひあにざひくも / 舞狂心し / 人はへ地てと / もまるすり / し蝶るど / の花り / 如園に / レアア / とああ / ヤサシウツクシ / うたひまはまし / われもひと



園

花

我歌あ花い酔高香	花やあ花見咲目色
もひあにざひくも	にさあによきもあ
舞狂心し	映し狂誇て
人はへ地てと	えへりあや
もまるすり	てうるたやか
し蝶るど	つ蝶るにに
の花り	くの花
如園に	し群園



秋の草

(短ト調四拍子)

梁田貞作曲

Musical score for 'Autumn Grass' (秋の草) by Masamichi Yamada. The score is in 4/4 time and consists of five staves of music with lyrics in Japanese. The lyrics are:

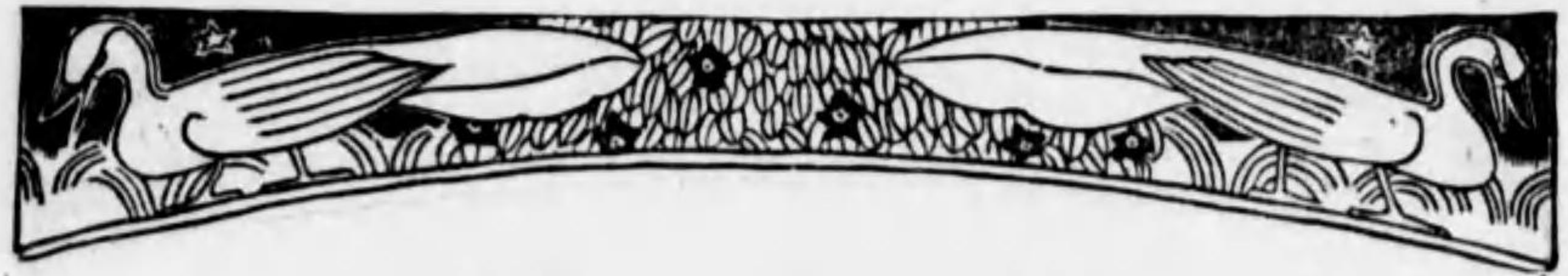
1. ハズエニ ツユノ キヨラニ キラメキテ
 2. そよかせ ふきて しづけき むしのねに

アサヒニ ハユル ノミチノ イトハギノ
 すすきの ながの ひともと をみなへし

コボルル ハナピラ コボルル ツユニ
 いりゆく ゆふひを みおくり たてば

タマリモ カネテ タダズム ヲトメ
 すすきの ほなみ こゑなく ゆらく

アアアアアハレ
 あああああはれ



秋の草

Lyrics for 'Autumn Grass' (秋の草) arranged in two columns:

一、
 葉木に、露の
 清らかに きらめきて
 朝日に映ゆる野路の繡萩の
 こぼるゝ露に
 こぼるゝ花片
 手折りもかねて
 たゞすむ少女
 あはれ
 あゝ
 あゝ

二、
 そよ風吹きて
 静けき虫の音に
 芒の中の一もと女郎花
 入りゆく夕日を
 見送り立てば
 芒の穂波
 こゑなくゆらく
 あはれ
 あゝ
 あゝ



かへりゆく雁

ハ調四拍子

小松耕輔作曲

1 ナニカ コトノ アリゲニ ナキテ
 2. やなぎ かれし をがはの つつみ

イツヤ カヘル カリガネ イクハ
 ひとり ゆけば ゆふひはおちて

カゲハ トホク ハヤクモ キエテ
 かりの こゑの またも やきこゆ

ホシゾ ヒトツ マタタケ ル
 ともに はぐれ ゆくか かり

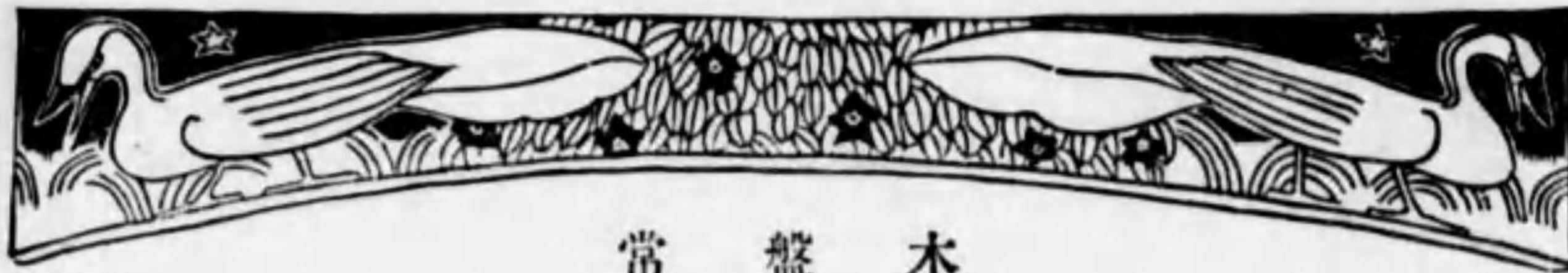


雁くゆり歸

ニ

一、何か事のありげに なきて
 急ぎ歸る かりがね 幾羽
 影は遠く
 早くも消えて
 星ぞひとつ またたける

二、柳枯れし小川の堤
 ひとりゆけば 夕日は落ちて
 雁のこゑの
 又もや聞ゆ
 友にはぐれゆくか 雁



常盤木

(ハ調四拍子)

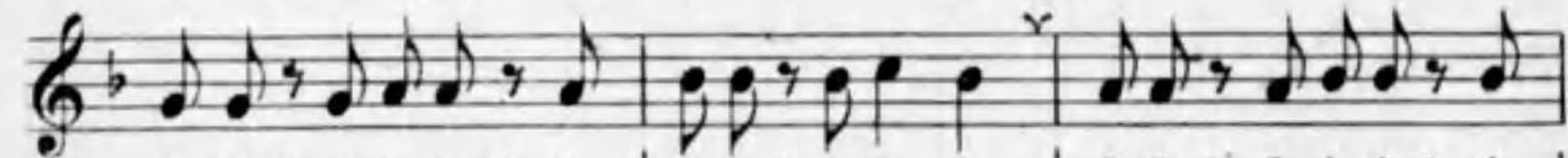
梁田真作曲



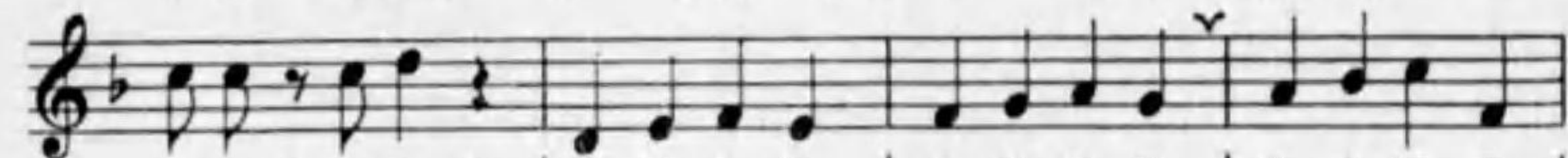
1. 1 1 1 1 1 | 3. 2 1 5 0 | 5. 1 4 0 | 3. 1 2 0 |
 1. カゼハオトモ サムク ケフモ フキテ
 2. はるもあきも なれは ひとり たちて



1. 1 1 1 1 1 | 3. 2 1 5 0 | 5. 1 4 3 | 1 - 0 |
 ミダレナルカキノハ ノニヤマニ
 あでにいるをこらしすことあらす



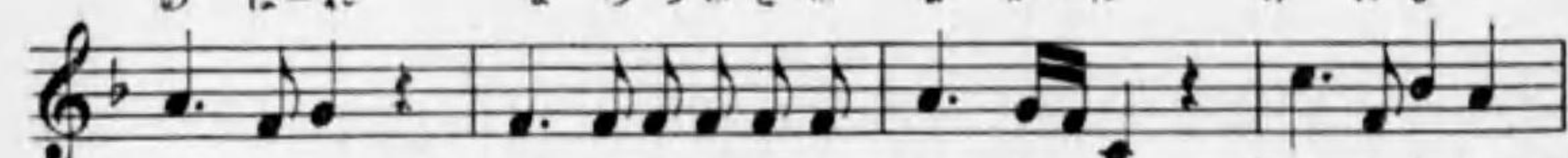
2 2 0 2 3 3 0 3 | 1 1 0 4 5 4 | 3 3 0 3 4 4 0 1 |
 コノヒゴロヒ トリツヨク エダゴトニハ
 ゆきつめばゆきにそびえかぜふけばか



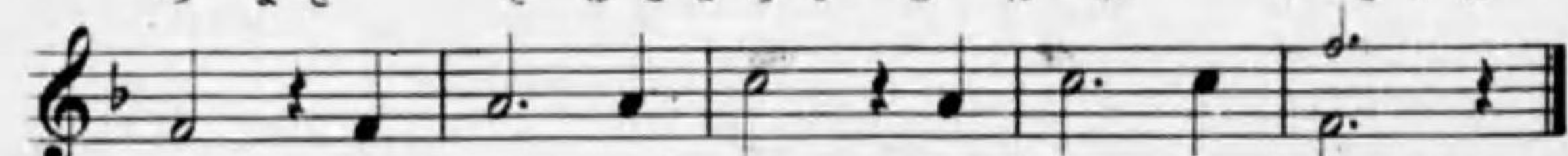
5 5 0 5 6 0 | 6 7 1 7 | 1 2 3 2 | 3 4 5 1 |
 ユルイロ フラシキ ミドリバ シグレル
 ぜにまひひによにきたひてさかゆる



3. 4 3 2 0 | 1. 1 1 1 1 1 | 3. 2 1 5 0 | 5. 1 4 0 |
 アハレ ロゾノキノ ナカーニ ゲニモ
 あはれよろづのきのなかにげにも



3. 1 2 0 | 1. 1 1 1 1 1 | 3. 2 1 5 0 | 5. 1 4 3 |
 ツヨキ ソノスガタヅ アハレ イトツヨ
 つよき そのころぞあはれいとつよ



1 - 0 1 | 3 - 3 | 5 - 0 3 | 5 - 5 | 1 : 0 ||
 キトキハギトキハギ
 きとき はぎ と き はぎ



木 磐 常

一、 風は音も寒く

今日も吹きて

亂れ散るか 木の葉

野に山に

この日頃 ひとり強く

枝毎に映ゆる色

雄々しき翠葉

繁れる あはれ

よろづの木の中に

げにも強き其の姿ぞあはれ

いと強き常盤木 常盤木

二、 春も秋も汝は

ひとり立ちて

嬋に色をこらす

事あらず

雪積めば 雪に貸え

風吹けば 風に舞ひ

日に夜に鍛ひて

榮ゆる あはれ

よろづの木の中に

げにも強き其の心ぞあはれ

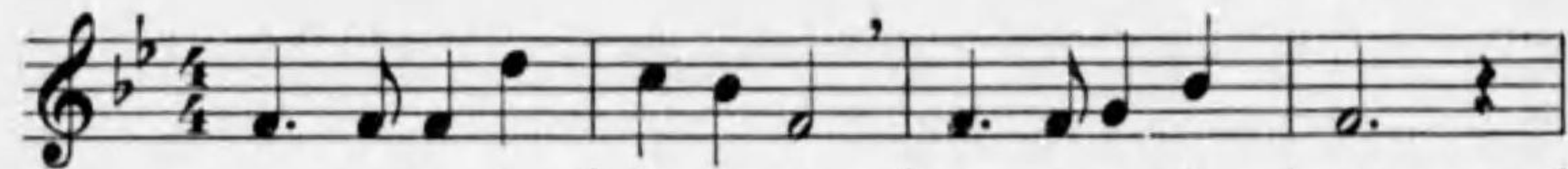
いと強き常盤木 常盤木



寒 鴉

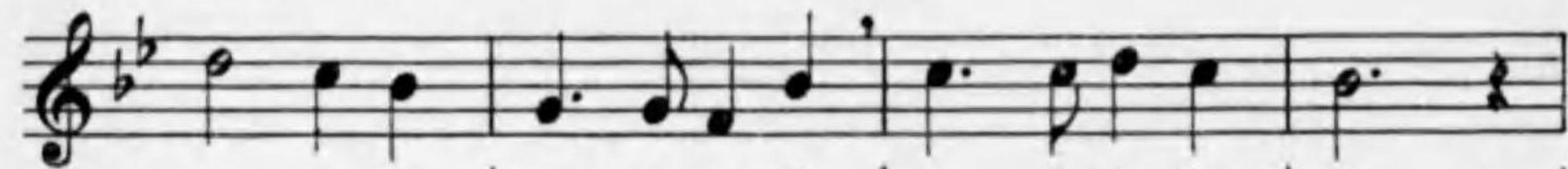
(嬰 調四拍子)

小松耕輔作曲



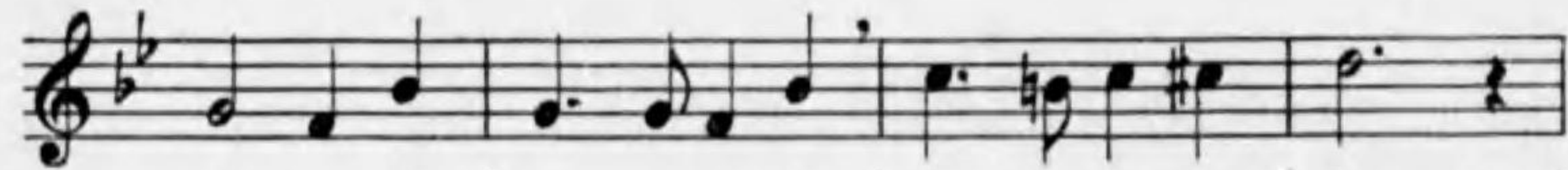
5. 5 5 3 | 2 i 5 - | 5. 5 6 i | 5 - . 0 |

1. マ ドゴシ ニミル ヤ マノハ ノ
2. ひ とかけ もなき しもがれの



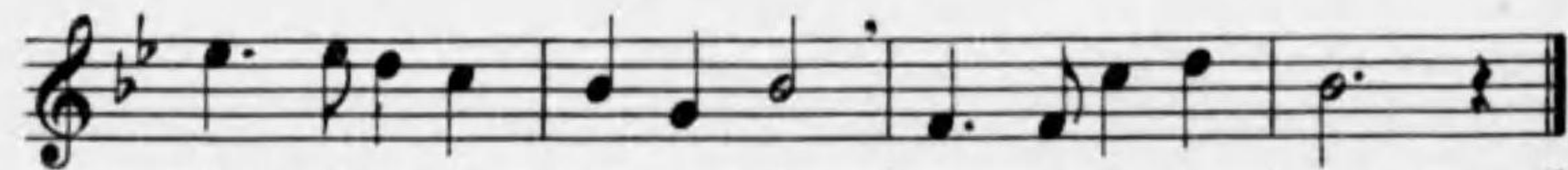
3 - 2 i | 6. 6 5 i | 2. 2 3 2 | i - . 0 |

マ パラ ヤセマツ カゼヤフ ク
の みち こぼしる くろいぬに



6 - 5 i | 6. 6 5 i | 2. 2 i 2 2 | 3 - . 0 |

ト マリ カネテハ マヒアガリ
ほえられ ながらしらぬげに



4. i 3 2 | i 6 i - | 5. 5 2 3 | i - . 0 ||

マヒクダリスル カンガラ ス
か - ぜに たちをる かんがらす



鴉

寒

二

風に立ちをる寒鴉
知らぬげに
吠えられながら
黒犬に
野路小走る
人影もなき霜枯の

舞ひ下りする寒鴉
舞ひ上り
とまりかねては
風や吹く
まばら瘦せ松

一

窓越に見る山の端の



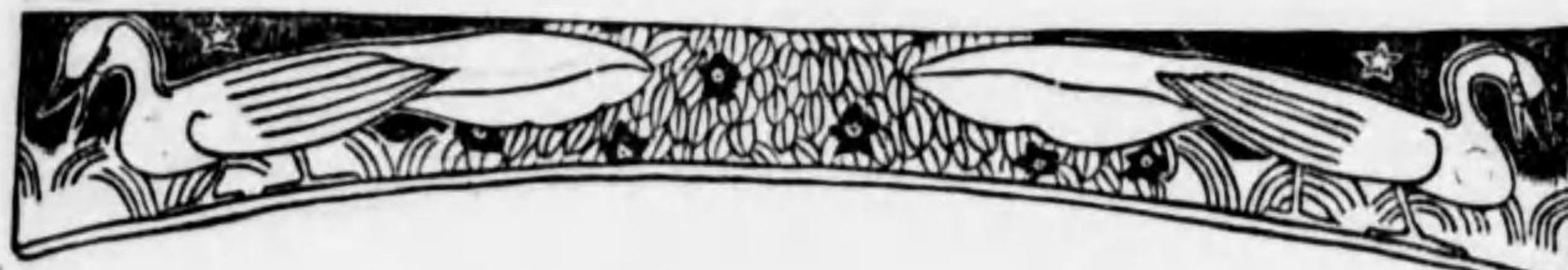
木 枯

(嬰調 六拍子)

小松耕輔作曲

Musical score for 'Wood Drying' (木 枯) in 6/8 time,嬰調 (E-flat major). The score consists of four staves of music with lyrics in Japanese. The lyrics are:

1. ヤ マ デ フ ク ダ ル ヤ セ ウ マ ノ
 2. く だ り て ゆ き し ま ご の う た
 イ ナ ナ キ サ ム キ コ ガ ラ シ ニ
 き こ え ナ り て こ が ら し は
 テ ラ ノ オ ホ キ ノ イ テ フ バ ノ
 い て ふ お ち ば を ふ き ま く り
 ミ ダ レ テ チ リ テ ヒ ノ ク ル ル
 ふ き ま く り つ つ ひ の くる



枯 木

一、山路を下る瘦馬の
 嘶き寒き木枯に
 寺の大木の
 銀杏葉の
 亂れて散りて
 日の暮るゝ

二、下りて行きし馬子の唄
 聞えずなりて
 銀杏落葉を
 吹きまくり
 吹きまくりつゝ
 日の暮るゝ

三、木枯は



スキ

(ト調六拍子)

小松耕輔作曲



5 | 1 1 1 2 | 3 2 1 2 2 | 5 5 6 7 | 1. 1 |

1. マ シロニウヅノテヨノマノユキ-

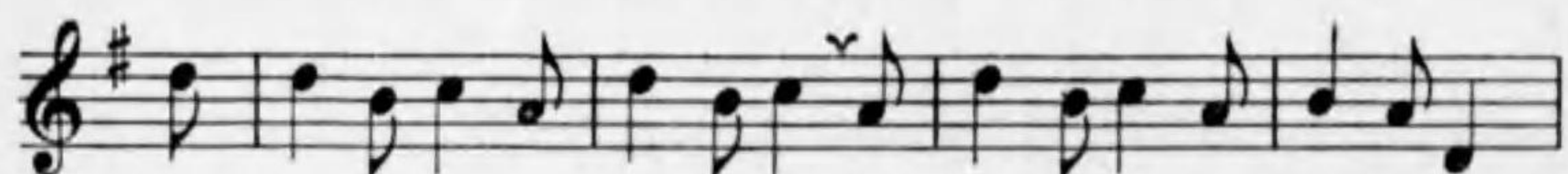
2. まぶしきばかりにかがやくゆき-



5 | 1 1 1 2 | 3 2 1 2 2 | 5 5 6 7 | 1. 1 |

ミネニモタニニモフツモリス-

けたててくだればあおもしろ-



5 | 5 3 4 2 | 5 3 4 2 | 5 3 4 2 | 3 2 5 |

イザイザユカズヤタノシキスキイニ

みねよりたにへとたちまちひととび



5 | 1 1 1 2 | 3 2 1 2 2 | 5 5 6 7 | 1. 1 ||

カゼサヘソヨガズソラモハレヌ-

いるごとすべりてあおもしろ-



スキ

一、
 真白に埋めて
 夜の間の雪
 峯にも谷にも
 降り積りぬ
 いざゆのかすや
 楽しきスキに
 風さへそよがす
 空もはれぬ

二、
 眩しきばかりに
 輝やく雪
 賑たてて下れば
 あゝ面白
 峯より谷へと
 忽ち一とよび
 射る如すべりて
 あゝ面白



寒 月

(短ハ調四拍子)

梁田 貞 作曲

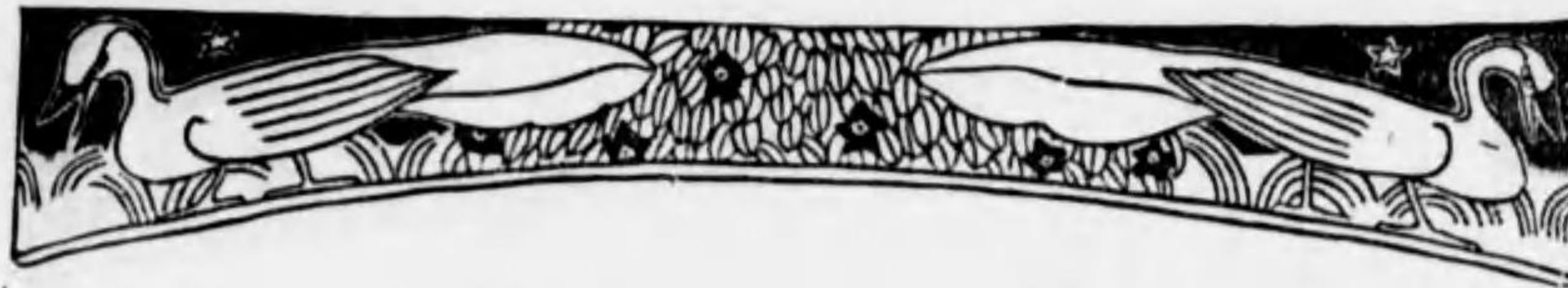
1. カハ—ラノ ヤ ネニ ノ キ イ シ ニ
 2. しき—りに ほ えし いぬのこゑ

1 2 3 3 | 4. 2 6 0 | 6 5 6 7 | 1 - . 0
 デンシ—ン セ—ンニ テツノトニ
 きこえず なりて よはふけて

1 2 3 3 | i. 2 6 0 | b5 5 5 6 | 3 - . 0
 コホリツ—キ シヤ カゼモナシ
 みやは いまぞ おともなき

3 3 6 6 | b5 5 4 0 | 2 2 2 3 4 | 3 - . 0
 ホシマバ—ラナル オホヅラ—ニ
 ひのみや—ぐらに たつひと—の

3. 2 2 1 | 7. 6 1 0 | 3 3 3 i 7 | 6 - . 0 ||
 カンゲツ—ノミヅ サエワタール
 かんげつ—あふぐ いきしろ—し



月 寒

一、瓦の屋根に 敷石に
 電信線に 鐵の扉に
 凍りつきしや 風も無し
 星まばらなる大空に
 寒月のみぞ 牙えわたる

二、しきりに吠えし犬の聲
 聞えずなりて夜はふけて
 都は今ぞ音もなき
 火の見櫓に立つ人の
 寒月仰ぐ息白し



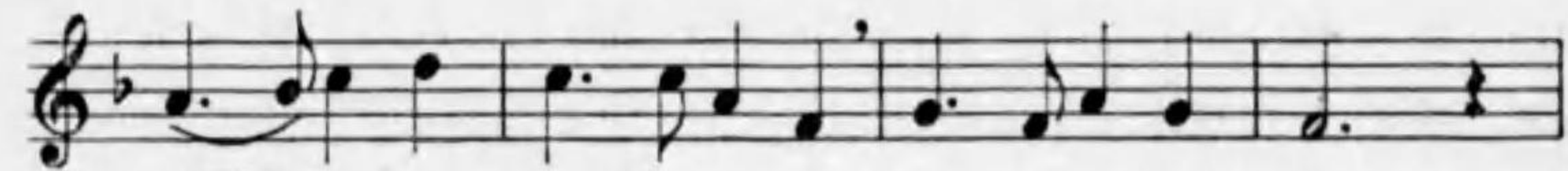
爐邊のまとも

(ハ調四拍子)

小松耕輔作曲



1. 1 1 3 | 2 1 0 - | 5. 1 3 1 | 2 - . 0 |
 1. ヒ ネ モ ス フ キ シ カ ゼ ヤ ミ テ
 2. し め の こ し た る た か ま ど に
 3. ホ ダ ビ ニ ホ テ ル ホ ホ フ セ テ



3. 4 5 6 | 5. 5 3 1 | 2. 1 3 2 | 1 - . 0 |
 ユ - キ ニ ク レ タ ル ヤ マ ノ イ ヘ
 く - ら く あ か る く か げ さ す は
 ネ - ム ル ス エ ノ コ ハ ハ ノ ヒ ザ



5. 5 3 4 | 5. 5 5 5 | 6. 5 5 4 | 5 - . 0 |
 キ - ロ リ カ コ ミ テ モ ユ ル ヒ ニ
 は - な し じゃ う づ の と し よ り の
 ツ - キ ヌ ハ ナ シ ニ ヨ ハ フ ケ テ



5. 5 1 3 | 6. 5 5 6 | 5. 4 3 2 | 1 - 0 ||
 ナ - ニ カ カ タ レ ル ワ ラ ビ ゴ ニ
 ふ - る と し も な く ふ る か し ら
 タ - ギ ル チャ ガ マ ノ シ ロ キ ユ ゲ



ゐとまの邊の爐

三	二	一
た 盡 眠 楳 振 ぎ き る 火 る ぬ 末 火 茶 話 の の 釜 に 兒 ぼ の 夜 母 てる 白 は の 頬 き ふ 膝 伏 湯 けて せて 氣	話 暗 締 上 く め 手 明 残 の る し 年 く た 寄 影 たる の さ 高 の さ 窓 の す は に	何 ゐ 雪 日 か ろ に ね 語 り 暮 も れ 圍 れた す る み たる 吹 笑 みて 燃 山 き ひ 燃 ゆ の 風 聲 火 の 家 や に 火 火 の 家 や に 火 火 の 家 や



春近し

(ハ調四拍子)

小松耕輪作曲

Musical score for 'Spring is Near' (春近し) in G major, 4/4 time. The score consists of four staves of music with corresponding lyrics in three columns below.

5. $\underline{6\ 5\ 3\ 2\ 1}$ | 3. $\underline{5\ 3\ 2}$ - | 3. $\underline{4\ 5\ 6}$ | 5 - . 0 |

1. ド バシ-ノ- シターノ ミヅマシ タ
2. か れて-や- たつ-と み えたり し
3. ウ シロ-ノ- ヤブ-ニ ウグヒス ノ

$\underline{1} - \underline{6\ 5}$ | 3. $\underline{3\ 2\ 1}$ | 2. $\underline{4\ 3\ 2\ 3}$ | 1 - . 0 |

キ シノ ヲ グサモ モエソメ- ス
や なぎ な みきの えだごと- に
コ エヲ キ キスト トモノイ- フ

2. $\underline{2\ 5\ 2}$ | 3. $\underline{4\ 5}$ - | 6. $\underline{2\ 1\ 6}$ | 5 - . 0 |

ト ホノノ ソラニ キコユル ハ
ほ のかに わかめ ふくらみて
ノ ヤマニ ウタヒ タハムレ テ

$\underline{1}$. $\underline{2\ 3\ 3}$ | 2. $\underline{3\ 2\ 1}$ | 6. $\underline{5\ 2\ 3\ 2}$ | $\underline{1} - . 0$ ||

ハ - ヤモ ヒバリカ ハルチカー シ
は - をば だすらん はるちか- し
ワ レラモ アソバン ハルチカー シ



し 近 春

一、土橋の下の水増して
岸の小草も 萌えそめぬ
遠野の空に 聞ゆるは
早も雲雀か 春近し

二、枯れてや立つと 見えたりし
柳並木の枝ごとに
ほのかに 若芽ふくらみて
葉をば出すらむ 春近し

三、後の藪に 鶯の
聲を聞きぬと 友のいふ
野山に歌ひ戯れて
我等も遊ばむ 春近し



我等の前途

ト調 二拍子

小松耕輔作曲

Musical score for '我等の前途' (Our Future) in G major, 2/4 time. The score consists of four staves of music with corresponding lyrics in three parts.

1. ヤ マ ニ ヒ ロ ノ ニ カ ス ミ ヲ コ メ テ
 2. や ま も こ え な む い は ね も よ ち て
 3. エ ラ ビ ス ス マ ン ミ チ コ ソ チ ガ ヘ

ヤ ガ テ ム カ ヘ ン ワ レ ラ ノ ハ ル ヨ モ
 か は も わ た ら む ふ ち を も セ を も
 オ ノ ガ ツ ト メ ニ タ ダ マ シ グ ラ ニ

コ コ ニ テ ヲ ト リ マ ナ ビ シ ム ト セ
 ゆ く て さ へ ぎ る な に も の あ り や
 ニ チ ヤ イ ソ シ ミ ハ ゲ マ ン ワ レ ラ

ト モ ヲ ワ レ ラ ノ ハ ル コ ソ キ ツ レ
 ち か ら み ち た る わ れ ら を し る か
 ア フ ゲ ゼ ン ト ニ カ ガ ヤ タ ヒ カ リ



途 前 の 等 我

一、山に廣野に霞をこめて
 やがて迎へむ我等の春よ

二、山も越えなむ岩根も攀ぢて
 川も渡らむ淵をも瀬をも
 行手さへざる何物ありや
 力満ちたる我等を知るか

三、選び進まむ道こそ違へ
 おのがつとめに只ましくらに
 日夜いそしみ勵まむ我等
 仰げ前途に輝やく光

友よここに手を取り學びし六とせ
 我等の春こそ來つれ

I											
七					六						
紙風船	蟬	勝つた龜の子	シヤボン玉	小さな鯉	おべんたう	箱庭	お馬	お砂場遊	ほなたる	小さな蝸牛	かへる
幼八	少三	少二	幼二	幼二	幼五	少一	幼一	幼七	幼二	幼十一	幼二
夕	腰か	小犬	お船	水鉄砲	かたつむり	笹星	お太郎	野あそび	木舟	楽しいお家	金魚
幼六	幼三	幼十一	幼二	少三	少五	幼七	幼六	幼五	幼三	少二	少三
虹	日まはり	お月様	蠅と蜘蛛			蜜蜂	森の唱歌	朝顔	蟻	かうもり	かうもり
幼六	幼六	幼八	幼十二			幼九	幼十二	幼十	幼十	少五	少五

I										學期	
五					四					月	
すゝめ	燕	御門	飛行機	風車	さく	蝶と春風	お玉じやくし	學校生徒	お友達	私の先生	第一學年
少一	少六	幼五	幼一	幼九	幼一	幼一	幼一	少一	少一	幼一	
蓮の葉の露	獨樂	噴水	竹馬	藤の花	親牛	花と春風	雲雀	お庭の草花	お長節	ひよこ	第二學年
少一	幼十	幼二	幼六	幼二	少二	少一	幼九	幼一	幼三	幼五	
遠足の歌	天の岩屋歌	つばめ	私の村	お山	春	羽衣	水の旅	私の花壇	董たんぼ	お山	第三學年
少五	少五	少六	少六	幼五	少三	少三	少五	幼十一	幼五	幼五	

Ⅲ				Ⅱ				
一				一二				
疊	梅	あ	一	餅	ば	犬	蓄	猿
み	の	ら	月	つ	あ	と	音	蟹
紙	花	れ	日	き	や	猫	器	合
幼	少	幼	幼	幼	幼	幼	幼	戦
八	三	八	四	八	七	四	三	幼
お	加	雪	双	あ	イル	熊	大	那
角	藤	ステ	六	う	ルミ	ネー	象	須
力	清	イシ	遊	ひ	ネー	ション	工	與
幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	少	一
八	四	十一	十	四	九	八	四	日
	雪	ボ	金		川	サン	活	少
		ス	鵝		中	タク	動	四
		ト	動		島	クロ	寫	十
			章		少	ース	真	タ
	幼	幼	少		六	幼	幼	ン
	十一	六	六		六	十二	四	ク
								幼
								五

				Ⅱ							
一二				一〇				九			
積	飛	花		り	か	お	星	粘	ブ	樂	私
	行	咲		ん	く	月		土	ラ	しい	の
木	船	爺		ご	れ	様		細	ン	お	村
幼	幼	少		幼	ぼ			工	コ	家	
四	三	二		三	一	三		幼	幼	少	少
								七	二	二	三
駱	太	水		菊	運	お	虫	軍	お	コ	三
					動	の	の		祭	ス	輪
					會	こ	こ			モ	と
					の	猿	え	艦	り	ス	車
駝	砲	車			朝			幼	幼	幼	少
幼	幼	幼		幼	幼	幼	幼	八	七	四	四
九	九	六		七	三	六	三				幼
											十二
落	マ	雁		野	鹿	赤		お	遊		と
	ラ				の	と					ん
	ソ				水	ん					
					鏡	ぼ		祭	戲		ぼ
葉	ン			菊	同	少		少	幼		幼
幼	少	幼		同	同	四		四	十二		六
三	六	七		六	五						

Ⅲ					
三		二		一	
花瓶の花	ワシントン	温室	傳書鳩	スケイテング	マリーの機轉
幼十一	少五	少十	少十	少八	少七
村の道ぶしん	雲	雪	グレース ダリング	太陽	鷺
少十	幼十一	幼九	少十	幼十二	少八
我等の前途	歸りゆく雁	春近し	スキ 鴉	爐邊のまどる	寒月
少十二	少十二	少十二	少十二	少七	少十二

Ⅱ									
一二		二		一〇		九		七	
もぐらもち	開墾	收獲	明治神宮	百舌鳥	山彦	競馬	ナイヤガラ	七面鳥	夏の朝
少七	少十	少六	少十	少八	少四	幼八	幼九	少六	少三
平和なる村	リンカーン	霜	山の秋	秋晴	秋の野邊	大きなダリヤ	賤ヶ嶽	大雪溪	とんび
少十	少十一	少十	少八	少十	少四	少八	幼九	少九	少一
常盤木	木枯	二歳駒	月夜	ざくろ	秋の草	養老	白孔雀	瀬戸内海	たそがれ
少十二	少十二	少十	少八	少八	少十二	少六	少八	少十一	少八

昭和六年五月一日印刷
昭和六年五月四日發行

大正少年唱歌合本
定價金貳圓五拾錢

著作権法ニ
依リ謄寫及
ビ著音機ノ
吹込ヲ禁ズ

編者 小松耕輔
編者 梁田貞
編者 葛原齒
發行者 東京市京橋區京橋二丁目三番地
目黒甚七
印刷者 東京市京橋區銀座西二丁目參
高橋郁

發行所

東京市京橋區京橋二丁目三番地
新島縣長岡市表町四丁目(本店)
新潟縣新潟市古町七番町(支店)

目黒書店

電話 新潟 九〇三番
電話 長岡 一八番
電話 京橋 三四一七番
電話 東京 二八〇九番
電話 東京 三六一九番
電話 東京 四〇九〇番

歌唱年幼正大

次曰集五第	次曰集四第	次曰集三第	次曰集二第	次曰集一第
五四三二一	五四三二一	五四三二一	五四三二一	五四三二一
おべんたう	お重たんぼ山	野遊もびん	ご遊もびん	お重たんぼ山
紀元節	雪に節	梅遊び	雙六遊び	一月一日
著香機	天長節	飛舟	豊船	お月の様
シヤボン玉	汽花	藤の車	はる水	噴のた
私と先生	蝶と春風	飛さ行く	幼雅園	飛さ行く
〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六
鬼が島	お玉江し	燕かたつむり	かたつむり	かたつむり
犬積と猫	活動寫真	動物寫真	動物寫真	動物寫真
木舟	落葉舟	運船	運動會	林の朝
せおみ	おブラン	小きな	かたつむり	かたつむり
かくれんぼ	かくれんぼ	かくれんぼ	かくれんぼ	かくれんぼ
お遊の草花	お遊の草花	お遊の草花	お遊の草花	お遊の草花
〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六
完	全	全	全	全
向七虹	日面	葵鳥	猿車	向七虹
〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六
竹夏休	浦島太郎	夕太	とんぼ	竹夏休
次曰集七第	次曰集六第	次曰集五第	次曰集四第	次曰集三第
五四三二一	五四三二一	五四三二一	五四三二一	五四三二一
お電祭	雁お砂屋	お砂屋	お砂屋	お砂屋
〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六
乳菊お粘象	菊お粘象	菊お粘象	菊お粘象	菊お粘象
母様工	母様工	母様工	母様工	母様工
子太雞	蠅と蜘蛛	雲花	小瓶の花	三羽の花
猫陽	猫陽	猫陽	猫陽	猫陽
〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六
木森の唱馬	遊あひな	少兵士	小さな牛	雪は善い子
鈴進の香	獨朝	朝朝	朝朝	朝朝
〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六
大軍熊	大軍熊	大軍熊	大軍熊	大軍熊
紙れ	紙れ	紙れ	紙れ	紙れ

終